

人権ポスター



倉敷南小2年 只重 果歩



大高小3年 藤田 大輝



大高小3年 三村 結花



倉敷南小6年 横矢 希衣



旭丘小5年 石井 美優



旭丘小5年 伊原 季咲



南中1年 加藤 千智



中島小6年 下野 莉瑚



中島小5年 木下 桜

編集後記

今年度もたくさんの方のご協力で「南風」を発行することができました。また、全戸配布に各町内会長さんのご協力をいただき、ありがとうございました。



南風

南中学校区
人権だより
第56号

発行 令和5年2月28日(火)
南中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷南公民館
倉敷市沖新町 68-1
TEL/FAX 086-426-0240

人権が守られ、すべての人が大切にされるまちづくりをめざして

第17回 南風ふれあい人権弁論の会

令和4年11月19日(土)
倉敷南公民館 大会議室
参加者数：約50名



本年度は、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して、小学生・中学生の弁士6名による弁論発表が行われました。人権に対するさまざまな思いや願いにふれる、すばらしい会となりました。



参加者からたくさんの感想をいただきました。一部ですが、ご紹介いたします。(原文より抜粋)

なかなか小学生や中学生の弁論をきく機会が今までありませんでしたが、みんなそれぞれすばらしい発表だったのでひきこまれました。(40代)

どの児童・生徒も自分の経験と人権問題に関連させ、自分の言葉で訴えかけることができているととてもすばしかったです。一人ひとりの個性や自由の重要性を再認識することができた。(40代)

特にトランスジェンダーの話題が多かったですね。世の中も教育も積極的にとりあげ、子どもたちと共に考えてきているその様子がよくわかりました。(50代)

子どもたちにより発表の機会をつくっていただきありがとうございました。子どもたちの生の声を聞くことができ大人の私たちも意識を更にも高める必要を感じました。(50代)

発表者	論題	賞
大高小6年 田中知也子	「キラキラネーム」	心もキラキラ輝いているで賞
旭丘小6年 花田 奈緒	「思いやりの心をつなぐ」	さりげない優しさで賞
中島小6年 川村咲由希	「友情関係とは」	友情を深めたで賞
倉敷南小6年 中塚 遙斗	「男女平等な社会」	男女なかよくハーモニー賞
南中1年 徳田 朱星	「友よ!!自分らしく生きていこう!!」	心にうったえで賞
南中2年 三宅 妃奈	「トランスジェンダーへの理解をもっと」	多様性を認め合えるで賞

個性の尊重、押しつけではない相手を思いやるさりげない優しさ、自分らしさ、ジェンダーフリーについての理解を深め相手を知り、自分自身を知ることの大切さ、多様性を認める社会であることなどを自分自身の体験を中心に熱く語られていてすばらしい弁論の会でした。(50代)

子どもたちの発表は身の回りにある人権問題に目を向け、自分の考えを堂々と述べたすばらしいものばかりでした。改めて学校における人権教育の大切さを感じました。(60代)

子供の思いを聞かせて頂きありがとうございました。私も勉強になり、これからも考えたら少しでも良い世の中になるよう願っています。指導下さった先生方にもお礼を申し上げます。(70代)



7/2 (土)
人権学習推進委員交流会



ライフパーク倉敷において、第10回人権学習推進委員交流会が開催されました。

「わたしの人権メッセージ動画チャレンジ」に参加した小中学生の動画の上映や参加体験型研修「ブラインドサッカー」を通して相互に交流を深めました。



8/5 (金) 研修視察

令和4年8月5日(金)『足高山と足高神社の戦争事跡を辿る』というテーマで実施しました。

推進委員8名とご家族の児童生徒3名 計11名が参加し、足高神社の宮司の井上亮二氏から、足高山山頂に戦時中設置されていた「足高山防空監視哨」と当時の様子について説明を受けました。

また、足高山は450年前は、万葉集に笹島などと詠まれ、東西航行の要路で、潮流が激しく鳴門の如く渦が巻いていたといわれており、通る船は全て帆を下げ、島上の足高の神に敬意を表し難を逃れた為、「帆下げの宮」と称して崇められたことなど、足高神社の歴史についてもお話を伺いました。短い時間でしたが、郷土の歴史に触れる有意義な研修となりました。境内には、77年前の終戦直後に旧海軍兵士がお世話になった地元へのお礼に植えたクロガネモチの苗木が『平和の記念樹』として今は立派に成長し、静かに人々の平和を見守っています。



人権教育講演会

『いのちココロ』

～健康な心 病む心～

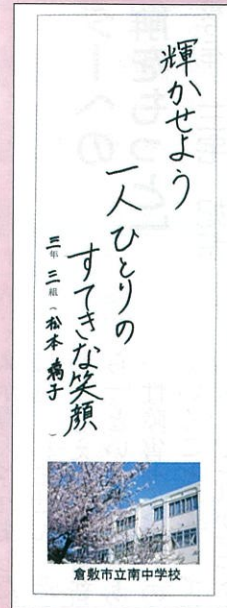


9月4日(日) 沢田の杖塾主宰、社会福祉法人岡山いのちの電話協会副会長の森口章先生をお招きし、倉敷南公民館で講演会を行いました。参加者28名が密にならないように配慮し開催いたしました。



【参加者感想】

- * “道具言葉”と“いのち言葉”について自分自身考えさせられ、道具言葉を使っている場面が多くあることに気づかされた。(40代)
- * 自分の子どもや孫にいのちの言葉をかけてあげる様、長生きして欲しいと思われる老人になりたいと思いました。(70代)
- * 今まであまり考えずに言葉を使っていたことを改めて気付かされました。今日家へ帰ったら家族にいのち言葉を使うように工夫してみようと思います。(60代)
- * 人の一生の中は常に健康な心で生き抜くことは簡単な事ではないと思う。しかし、お話のように×を探すことよりも○をさがして生きる術は大切なことだと思いました。(80代)
- * 十人十色、皆違ってそれで良い。他人の○を探すのも大事だか、相手の幸せを願うと、それがまた自分に返ってくると思いました。(60代)



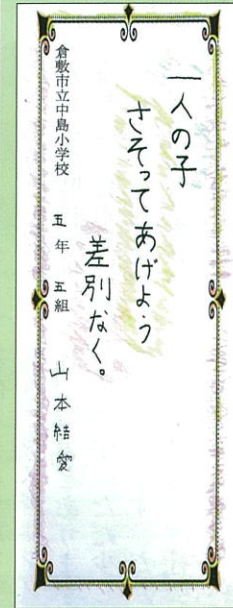
南中3年
まつもと りこ
松本 璃子



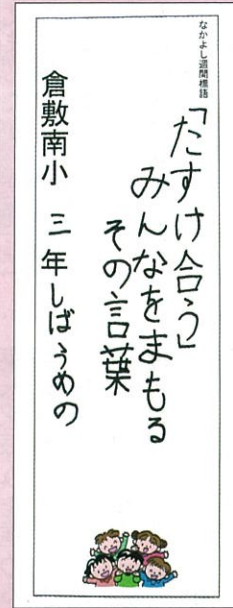
大高小3年
にしな こういち
仁科 康一



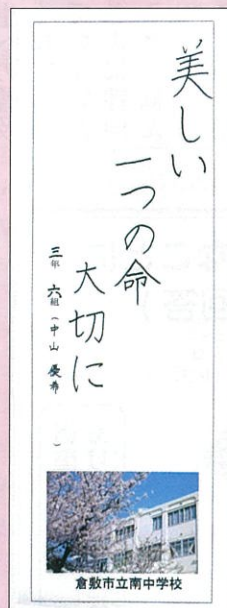
旭丘小6年
おばた こうき
小幡 昂輝



中島小5年
やまもと ゆあ
山本 結愛



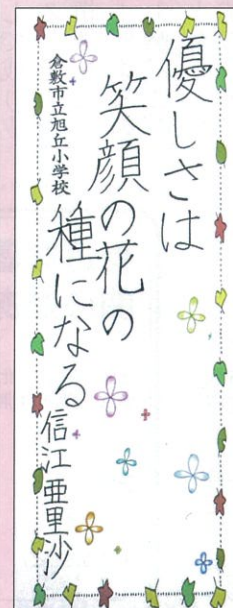
倉敷南小3年
しば うめの
芝 梅乃



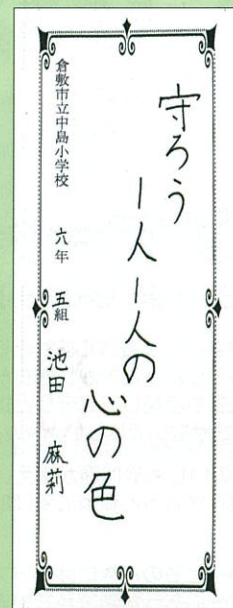
南中3年
なかやま ゆき
中山 優希



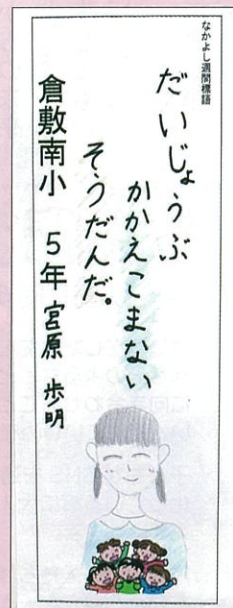
大高小6年
わしお かずや
鷺尾 和哉



旭丘小6年
のぶえ ありさ
信江 亜里沙



中島小6年
いけだ まり
池田 麻莉



倉敷南小5年
みやはら あみ
宮原 歩明